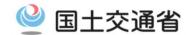
# 第2回 八代港の中長期ビジョンに関する検討会



- 〇本検討会では、概ね20~30年先を見据えた際に八代港で必要と想定される港湾の機能・役割を踏まえ、「中長期ビジョン」として今後の方針・施策等を整理することを目的として、港湾利用者や行政関係者等による議論を進めている。
- 〇令和4年12月19日に開催した第2回検討会では、第1回検討会(令和4年10月13日開催)での意見等を踏まえて整理した八代港の目標・取組の方向性・取組方策の案について、各構成員から意見を頂いた。令和4年度末までに第3回を開催予定。



## 議事次第

日時:令和4年12月19日(月)14:00~16:00 場所:八代グランドホテル 2F 瑞穂

- 1. 開会
- 2. 議事
- (1)第1回検討会の振り返り等
- (2)八代港における中長期ビジョン(案)について
- 1)課題の整理
- 2)目標(案)と取組の方向性(案)
- 3)取組方策(案)
- (3)農林水産品の輸出拡大についての情報提供
- (4)意見交換
- 3. 閉会

### 構成員一覧

# 所属 RCL Japan Holdings 合同会社 (まもと県産木材輸出促進協議会 ジャパンオイルネットワーク(株) パシフィックグレーンセンター(株) ハ代商工会議所 ハ代商工会議所 ハ代商工会議所工業部会 ハ代港運協会 熊本県 ハ代市 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所

(敬称略、順不同)



検討会の様子

### 主な議題

### 物流・産業

- 用地不足への対応と土砂処分場の確保
- 港内(ふ頭間)および背後圏へのアクセス強化
- 農林水産品の輸出拡大

### 人流・賑わい

• クルーズ船受入拠点「くまモンポート八代」を基点とした周辺観光の充実

### 環境・エネルギー、防災・減災

- カーボンニュートラルポートの形成
- 防災・減災対策の強化

### 検討会で頂いた意見の一例

- 用地不足については、土砂処分場所の検討を含めた港の 拡張についての議論と並行して考えていくべき。
- 八代港付近から広域道路ネットワークへの新たな接続施設を設けるなど、周辺交通との接続強化を検討してみては。
- クルーズ船については、中国の旅行客が大きなターゲットであるが、今のところ先行きが不透明。
- 観光地だけでなく体験や人といった観光資源にも目を向けては。

# 第2回 八代港の中長期ビジョンに関する検討会議事概要

日 時: 令和4年12月19日(月)14:00~16:00

場 所: 八代グランドホテル 2階 瑞穂

### 【主な意見】

- 土地不足の課題については、20~30 年後を見据えた場合、港の拡張を含めた検討を行うのが 良いのではないか。
- 企業立地に関する助成制度も設けられているが、企業立地の話が進んでも土地がないという 状況が懸念される。
- 新たな土砂処分場の検討の際には、小型船の航路についても考慮してもらいたい。
- 八代港付近から広域道路ネットワークへの新たな接続施設を設けるなど、周辺交通との接続 強化についても検討してみては。
- 社会科見学などでにぎわいを創出するのも良いのではないか。
- クルーズ船については、中国からの旅行客が大きなターゲットであるが、現状先行きが不透明。
- 観光戦略については、観光地だけではなく体験や人も貴重な観光資源となる。

### 【農林水産品の輸出拡大についての情報提供】

- 八代港は、100km 圏内に多くの木材生産地があり、地理的に優位な位置にあるため、木材輸出において重要な港となっている。
- 〇 日本からの農林水産物・食品の輸出額について、2022 年は 10 月までの累計で 1 兆円に到達 (昨年より 1 月早い)。また、日本からの農林水産物・食品の輸出先は、1位から順に、中国、アメリカ、香港、台湾、ベトナムとなっており、その5国で輸出額の約7割を占めている。

(以上)